Trimble Connect

シームレスなデータ連携で
作業の効率化と業務の変革を
追求

点群を"置くだけ"で、
設計と現場のズレがその場でわかる

2026年4月版

Trimble Connect は、現場に必要な3次元設計データや各種ドキュメントをクラウドに集約し、
オフィス～現場間の情報共有を効率化するクラウドソリューションです。
拡張機能「ポイントクラウドビュー」を追加することで、3次元点群データをリアルに表示し、
3次元設計データとの重ね合わせ表示も可能になります。
インターネット環境があれば、権限付与された関係者が（Windows PC ／ iOS ／ Androidから）
アクセスでき、打合せや協力会社間の情報共有を支援します。

いまお使いのTrimble環境に、『現場を見える化する力』を追加しませんか？

こんなお悩み、ありませんか？

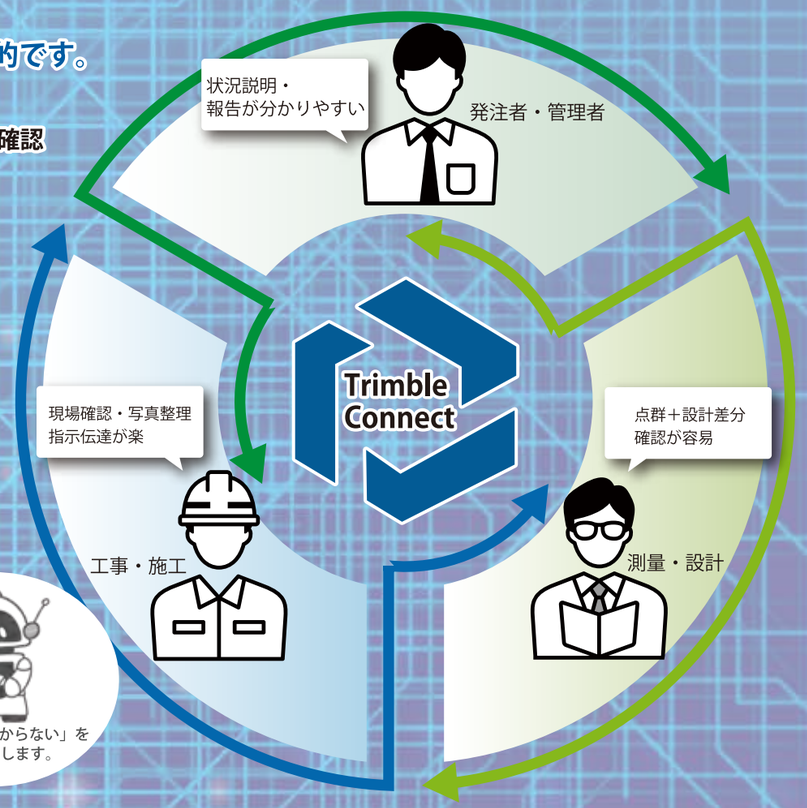
- ■図面や3Dモデルだけでは、現場の実状が伝わりにくい
- ■確認のために現場へ行き直すことが多い
- ■写真・点群・図面がバラバラに管理されている
- ■関係者ごとに見ている情報が違う

Trimble Connect ＋ ポイントクラウドビューで解決します！

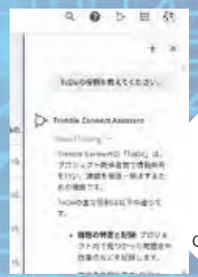
- ■現場を3Dでそのまま共有し、施工可否をオフィスで判断
- ■設計と現況の差を、数値と視覚で即確認
- ■オフィスから現場状況を即時把握

こんな場面で特に効果的です。

- ■施工前・施工中の確認
- ■設計データと現況の差異確認
- ■発注者・管理者への説明
- ■手戻り・再作業の防止



Trimble Connect Assistant



Connectの「分からない」を
AIがお助けします。

Trimble Connect　主な機能

データ管理も共有も、これひとつで。手戻り・伝達ミスを低減し、現場運用をスムーズに。

Trimble Connectのデータ機能では、プロジェクトに関わるすべてのデータをクラウド上で一元管理します。業務に必要な図面、モデル、関連資料を集約し、関係者全員が常に最新の情報へアクセスできる環境を実現します。
データ管理画面では、ファイルを直感的に整理・閲覧できるエクスプローラ機能をはじめ、3Dモデルの作成（Trimble SketchUp Web※と連携）や、地図や位置情報と連携して計測データを確認できるMap Viewer機能を利用できます。分散しがちな業務データを一か所に集約することで、情報共有をスムーズにし、プロジェクト全体の生産性向上を支援します。　※ Trimble SketchUp のライセンスが必要です。

シンプルなデータ保存画面

MapViewer：計測した点、線や画像を表示

エクスプローラ

Trimble Connectのプロジェクトに搭載されたデータを保管する「エクスプローラ機能」は、シンプルで柔軟性があり、様々な業務に対応します。1つのプロジェクトに保存できるフォルダやデータの数・容量は無制限※で、大規模業務も一元管理が可能です。各データは複数のアップロード方法に対応しており、常に最新状態を維持して作業者に提供されます。

さらに、データはバージョン管理と厳重な保管を行い、過去データの復元も可能です。最新データの共有により、設計ミスや手順の誤り、情報不足による手戻りを防ぎ、現場の混乱を回避します。
※ライセンスによって制限が異なります。詳細はライセンス比較表をご確認ください。

3Dモデルの作成

Trimble SketchUp Web※による3Dモデルの作成が可能です。
※ Trimble SketchUp のライセンスが必要です。

Map Viewer

Map Viewerは、各種フィールドデータとの連携をスピーディーかつ正確に実現します。Trimble Access、Trimble TerraFlexなど、Trimbleの多様なソリューションと連携可能します。現場で取得したデータをMap Viewer上で正確に可視化し、効率的なワークフローを構築します。

2D/3Dビューアで、すべての情報を一目で確認。

Excelファイルの2Dビューア表示

3Dモデル、点群の3Dビューア表示

2Dビューア

PDF、Microsoft Officeドキュメント、画像、テキストなど、様々な形式のファイルを表示できます。Word、Excel、PowerPointのファイルは、2Dビューア上での表示に加え、「Office 365」※で開いて表示・編集することも可能です。
※「Office 365」が必要です。

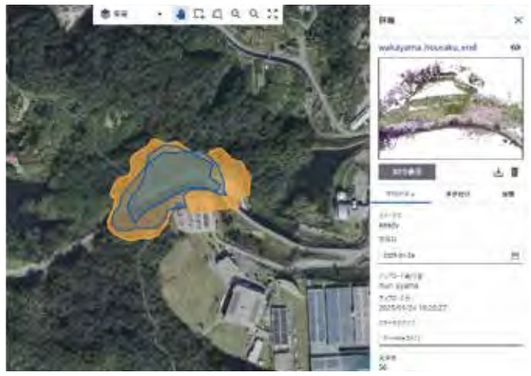
3Dビューア

3Dモデルや点群※をリアルな3D空間で表示し、現場を疑似的に体験できます。さらに、座標情報が一致していれば、複数のモデルを重ねて表示することも可能です（重畳表示）。また、Liveコラボレーションを使用することで、同じ空間に複数のメンバーを招待し、データを活用したプレゼンテーションや、リアルな視点での問題点の共有を行うことができます。視覚的な情報を最大限に活用することで、現場の効率を大幅に向上させます。
※ 点群を表示する場合は「ポイントクラウドビュー」の追加購入が必要です。

点群データを 3D ビューアで活用

ポイントクラウドビュー

Trimble Connectに「ポイントクラウドビュー（オプション）」を追加することで、3Dビューア上に点群データを表示し、確認・活用が可能になります。
Trimble Connectのエクスプローラに点群データをアップロードすることでデータ共有は可能ですが、点群の3D表示には「ポイントクラウドビュー」が必要です。本オプションを利用することで、点群データを3Dモデルや CAD図面と重ね合わせて表示でき、実際の現場に近いリアルな状況を再現できます。
点群とモデルを組み合わせて確認することで、現況把握や設計・施工検討がしやすくなり、確認作業の効率化や手戻りの削減につながります。
表示可能な点群データを格納するためのストレージ容量は、最小購入単位として1TBからご用意しています。作業規模に応じて、ストレージの追加も可能です。



ポイントクラウドビューの「マップ表示」
表示可能な点群と領域、点群取得時の情報やタグ、分類を確認できます。
「3D で表示」をクリックして「3D ビューア」に表示します。

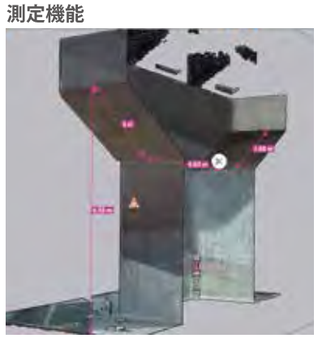
3Dビューアに点群を表示させることで、設計データと現場状況とのリアルな差を視覚で確認でき、進捗状況の確認や問題解決に大いに役立ちます。

「点群」を追加表示するだけで工事が進むリアルな現場を再現

3D モデルだけでは
情報が少なく寂しい

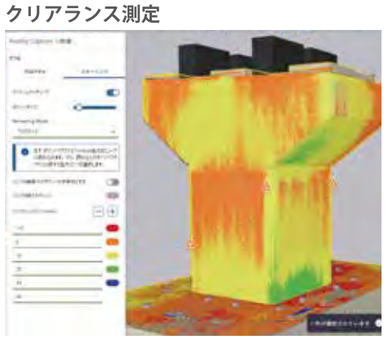
3Dビューアは、各種3Dモデル（IFCファイル、DWGファイル、LandXMLなど）を表示できるビューア機能です。Trimble SketchUpやその他の3Dモデル作成ソフトで3Dデータを作成し、Trimble Connectを介して、パソコンや携帯電話、タブレットで現場担当者や発注者と情報交換を行うことが可能です。ここに、点群を追加表示するだけで現場の状況はさらにリアルになります。
より詳細に打ち合わせしたい場合は、「Liveコラボレーション」でセッションを行い情報共有を行います。

測定機能



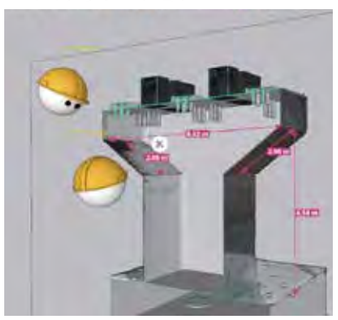
点群を指定して距離を測定

クリアランス測定



3Dモデルと計測点群における「隙間」の確認

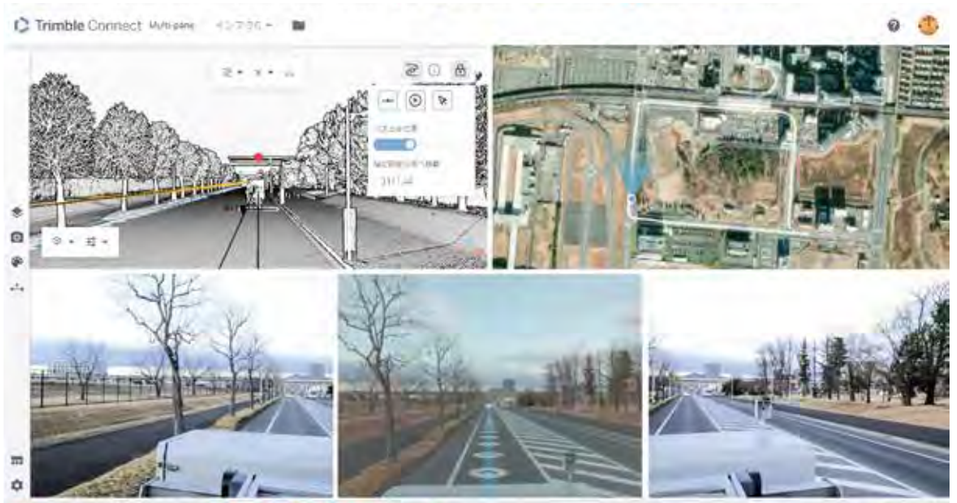
Liveコラボレーション



セッション参加者（アバター）と情報共有

マルチペインビューア（ポイントクラウドビューの新機能）

Trimble Connect マルチペインビューアは、特にモバイルマッピング分野において、計測データの効率的な管理・分析を可能にするツールです。車両や鉄道などで取得した軌道データ、高精度な座標位置情報、パノラマ画像とその撮影位置、点群データを最大5つの画面に分割して表示し、道路や鉄道の詳細な分析・管理を行うことができます。経路ナビゲーション機能を使用することで、ミッション軌道の曲線や中心線に沿ってモデルを視覚的に確認し、さまざまな方法で測定することが可能です。



TrimbleMX9で計測した点群を確認
左上：点群をパスナビゲーションによるミッション軌跡による追跡　右上：マップ画面で経路と走行位置を表示
左下：左前登載カメラによる画像　　中央下：パノラマ画像による進行方向全体　右下：右前登載カメラによる画像

「プロファイルビュー」で点群の断面表示

表示はビュー毎に点群（3D）、地図、画像、パノラマを自由に設定可能

前方右側搭載カメラ

パノラマ

MMSに登載しているカメラを別のビューに指示可能
・前方左側搭載カメラ
・前方右側搭載カメラ
・後方搭載カメラ

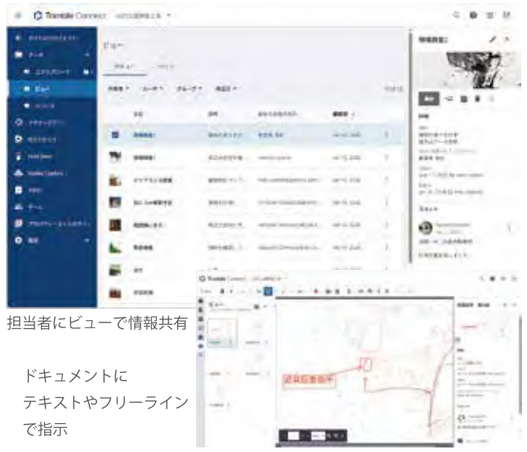
後方搭載カメラ

同じ撮影位置の画像をパノラマ化し360度ビュー表示可能
ステーションマーカー、ナビゲーションパス（軌跡）の表示も可能

「点群を追加するだけ」で、作業はここまで変わります。

いままで	追加導入後
図面・3Dモデルで想像	点群＋画像で現場を再現
写真を探しながら説明	クリックで現場確認
現場で再確認が必要	オフィスで判断可能
人によって理解が違う	同じ画面を見て共有

進捗管理と共有



担当者にビューで情報共有

ドキュメントに
テキストやフリーラインで指示

重要な情報を、チームに即時共有する「ビュー」

「ビュー」は、Trimble Connect上で2D ／ 3Dモデルを確認しながら、重要な情報や指示をチーム全体に確実かつ迅速に共有できる機能です。設計者・管理者・発注者からの指示をそのまま現場へ届けることで、伝達ミスを防ぎ、作業効率の向上を実現します。「ビュー」では、クラウド（Trimble Connect）上に保存された元データを直接編集することはありません。そのため、データの整合性を保ちながら、必要な指示のみを関係者へ伝えることができます。
業務指示が必要な際は、ビュー上に文字、矢印、ライン、フリー描画などで情報を追記できます。作業者はビューを開くだけで、モデルと重ねて指示内容を確認でき、直感的に作業を進められます。メールや画像だけでは伝えきれない細かな指示や意図も、「ビュー」を活用することで正確かつスムーズに共有。現場とオフィスをつなぐ、確実なコミュニケーションを支援します。

ToDo リストで進捗確認

現場指示・是正管理に、ToDo
（忘れてはいけないこと・やるべきタスク）

多くの作業工程の中で、「やるべきこと」を管理するのがToDo機能。チームや個別に「期限（いつまでに）」や「優先順位（どれから）」を設定して効率よく作業を進めます。

BCF トピックはサムネイルで情報表示

設計・施工間の指摘事項共有に、BCFトピック
BIM専用の「ToDo」機能

BCF トピックは、『BIM Collaboration Format（BCF）』を活用し、異なるBIMソフトウェア間でも共通して利用できる課題管理機能です。BIMに特化した「ToDo」として、プロジェクト全体の課題を効率的に管理・共有できます。BIMモデル上で課題を検討し、「期限」や「優先順位」を設定できるほか、「ファイル」や「画像」、ブラウザリンクなどの関連情報を添付することで、課題に必要な情報を一元的に共有できます。
課題は3Dモデルと関連付けることが可能です。テキスト情報だけでなく、3Dビューアにモデルを表示しながら課題を確認できるため、状況を直感的に把握でき、課題検討へのアプローチをシンプルにします。作成したトピックは、BCFファイルやPDFとしてエクスポートすることができ、社内外との情報共有や記録にも活用できます。BCF トピックは、BIM業務に最適化された高度なToDo管理機能として、円滑なコラボレーションと課題解決を支援します。

チームメンバーのグループ割りや役割やアクセス状況を確認

チーム管理と進捗を見える化するアクティビティ機能

共同作業者には「管理者」や「ユーザ」などのアクセス権を割り当てます。さらに、業務ごとに個別またはグループ単位で権限を細かく設定できます。
アクティビティ機能で、プロジェクトの履歴や進捗を追跡し、業務が確実に進行していることを管理します。

ライセンス

	Personal	Business	Premium
概要	Trimble ID※1を登録するだけで無償でご利用できるフリーライセンスです。	無制限のプロジェクト作成や共有データの登録などは、従来のローカルスタイルから最新のクラウドスタイルへの業務改善です。	Trimbleでご提供するサブスクソフトウェア※2に同梱されているライセンスです。デジタル技術を活用してビジネスに大幅な改革をもたらします。
利用料金	無償	有償	サブスク商品にバンドル
プロジェクト作成数	1	無制限	
保存データ量（クラウドのストレージ容量）	10GB	無制限	
プロジェクトへの参加可能な数	5※3	無制限	
衝突検出	可能		
タスク管理	可能		
ステータス共有、プロパティ共有、オーガナイザー	読み取り専用		可能
カスタムファイル属性	不可	可能	
ワークフロー拡張機能	読み取り専用		フルアクセス
アカウント管理ダッシュボード	不可	アカウント管理者のみ可能	
ユーザーの概要と管理	不可	アカウント管理者のみ可能	
プロジェクトの概要と管理	不可	アカウント管理者のみ可能	
ポイントクラウドビュー（オプション追加）	不可	可能	

※1 - Trimble Connectを利用される場合、Trimble ID（TID）の登録が必要です。登録は無償です。
※2 - Trimble Business Center、Trimble RealWorks、Trimble Access、Trimble Perspective、Trimble SiteVision、Trimble TerraFlex、他
※3 - Personalライセンスは、最大5つのプロジェクトに参加できます。上限に達した後は、読み取り専用アクセスのみとなります。

動作環境

※ポイントクラウドビューを追加導入する場合は以下のスペックをご参照ください。

	最小スペック	推奨スペック
プロセッサー	4 コア　1.6Ghz	8 コア　2.6Ghz
登載メモリー	8GB	16GB 以上
ストレージ	10GB	32GB 以上（SSD）
グラフィックカード	統合型グラフィックス 1GB	専用グラフィックス 4GB 以上（NVIDIA/AMD）
ネットワーク	2Mbps	10Mbps 以上
ブラウザ	Chrome ／ Edge ／ FireFox ／ Safari	

システム連携

	データ連携
Trimble フィールドシステム	Trimble Access、Trimble Perspective、Trimble SiteVision、Trimble TerraFlex
Trimble オフィスソフトウェア	Trimble Business Center、Trimble Realworks

このほかにも、様々なシステムと連携を行っています。

◆ 点群表示には「ポイントクラウドビュー」オプションソフトが必要です。
◆ Personalライセンスでは閲覧中心です。
◆ Officeファイルの編集にはMicrosoft「Office365」が必要です。
◆ Trimble SketchUp Webを動作させるためには別途ライセンスが必要です。

現場システムとTrimble Connectのコラボレーション

現場システムと連携するだけで「図面と現場があっているかわからない」「現場へ再訪するしかない」「営業・施工・設計で認識ズレ」などのトラブルを解消し、時間・手戻り・工数の削減に効果を発揮します。

点群とパノラマ画像で詳細確認

Trimble SX12 と Trimble Access で計測したデータを ポイントクラウドビューで表示

Trimble SX12（以降、SX12）で計測したデータをポイントクラウドビューで表示しました。
高精度・高機能サーボトータルステーションとしてご好評のSX12 を使用し、効率的な現場計測を行いました。

点群の計測は必要最低限に抑えることでデータ容量を軽量化しつつ、計測と同時にSX12に搭載された3つの高解像度カメラ（広角カメラ、メインカメラ、望遠カメラ）を用いて、現場周囲の撮影を行いました。
これにより、点群だけでは把握しにくい現場の状況を、パノラマ画像として詳細に確認することができます。

取得したデータは Trimble Connect を経由して、Trimble Business Center（以降、TBC）へ転送し、点群データ化を行います。必要に応じて、分類や間引きなどの点群処理を実施し、編集処理後の点群データをTBCからTrimble Connectへアップロードします。

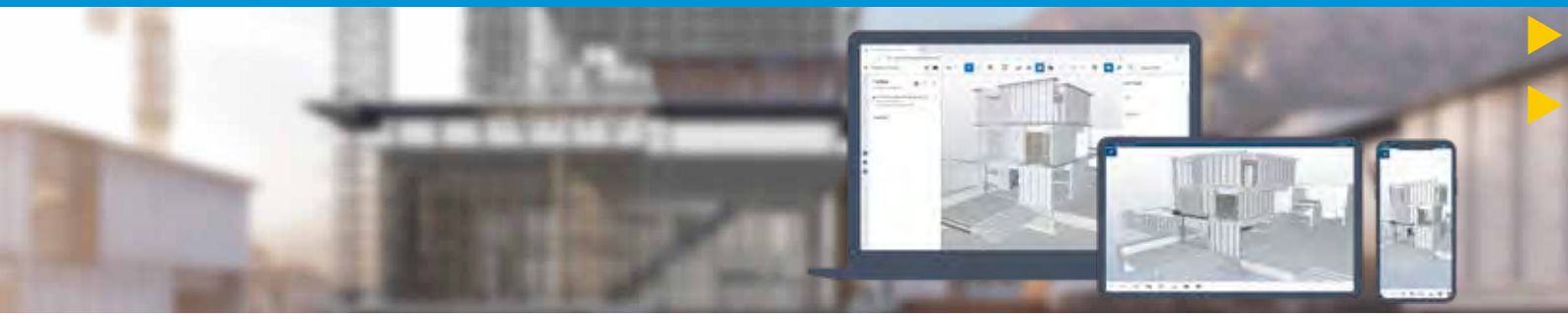
ステーションごとに撮影したパノラマ画像は、点群に色情報を付与するだけでなく、クラウド上での情報共有にも大いに役立ちます。

Trimble Connectの「ポイントクラウドビュー」では、点群とパノラマ画像、さらには3Dモデルを併せて表示することができ、複雑な現場の状況を直感的に把握・共有することが可能です。

点群のみ表示

（点群⇒高度色表示）

パノラマ画像のみ表示



お問い合わせ

株式会社 ニコン・トリンブル
https://www.nikon-trimble.co.jp/
ジオスパーシャル部
〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2 テクノポート大樹生命ビル

※ 掲載されている各値は、環境により変動します。
※ Trimble及び地球儀と三角のロゴは、米国Trimble社の登録商標です。
※ Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
※ その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標及び商標です。
※ ご注意：本カタログに掲載した製品及び製品の技術（ソフトウェアを含む）は、「外国為替及び外国貿易法」等に定める規制貨物等（技術を含む）に該当します。輸出する場合には政府許可取得等適正な手続きをお取り下さい。

2CJ-H9IT-1(2604-10)YY